



力を合わせて頑張った運動会！

5月19日(土)の運動会では、前日からの雨で実施が危ぶまれましたが、天候が回復し青空のもとで実施することができました。予定より遅れての開始を一斉メールでお知らせしましたが、急な変更で対応に苦慮された保護者の方もおられたようです。大変申し訳ありませんでした。

運動会では、どの学年の子どもも一生懸命頑張っていました。運動会のスローガンは、『力を合わせて助け合い、勝利に向かって走り抜け！』でしたが、そのとおりの運動会だったと思います。競技には勝ち負けがあり、勝った喜びや負けた悔しさなど子どもたちの思いはさまざまだったかと思いますが、とにかく全力を出し切る子どもたちの姿は立派だったと思います。本校が目指している「ひとみ輝く子ども」にぴったりの姿でした。

また、今年度は上鳥渡・下鳥渡・成川の各区長さんのご配慮で、テントをお借りすることができました。地域挙げての運動会となったことも、本当によかったと思います。

今年度の運動会がこのように大きな成果を得られ無事終えることができたのも保護者の方はもとより関係各位の方々のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

下鳥渡児童育成会少年消防クラブが、消防庁長官賞受賞！

盾を手にする阿部会長（前列右から3人目）と児童



消防庁長官賞たたえる 下鳥渡児童育成会少年消防ク

福島で伝達式

福島市の下鳥渡児童育成会少年消防クラブに対する消防庁長官賞の伝達式は十八日、市内の福島南消防署信天分署で行われた。

同クラブの阿部紀子会長が市消防本部の阿藤武消防長から盾を受けた。阿藤消防長は「表彰を契機に今後も活動に磨きをかけてほしい」と述べた。所属する児童十人が一緒に訪れた。

消防庁は家庭に火の用心を呼び掛けるチラシを配布したり、防災を学んだりしているクラブをたたえている。同クラブは、長官賞の中の最高賞に次ぐ「優良な少年消防クラブ」として表彰を受けた。

福島民報より 5/20(日)

下鳥渡児童育成会少年消防クラブは、創立30年を迎えるそうです。これまでの地道な活動が認められ、今回受賞となりました。福島市内では初めての受賞だそうです。地域のため、人のために活動している子どもたちがとても素晴らしいと思い、学校だよりでも紹介させていただきました。